

河野ワクチン担当大臣へ

愛知県内54市町村の声を届ける!



河野太郎行政改革担当大臣

新聞に
載りました

い七十五件だ
種会場へ出向けな
著に対する支援策
意見もあった。
が接種に際して市
用持ち出しゼロな
押しする「費用負
十一件、「医師・
確保」が二十八
件、「接種会場の設定・確
保」が二十五件と続いた。
県連の石井芳樹・政務調
査会長は「災害現場など
も国と現場の認識には差が
出てしまう。まずは県内各
市町村の状況をしっかりと
知ってもらいたい」と話し
ている。

(2月26日 中日新聞)

災害現場での混乱を見る度に感じるのは、現場で起きていることと、国の施策との差異であり、実際の現状を国が認識できていないことでもあります。

そこで、少しでも事前に現場の混乱を回避できたらとの思いで、県内54市町村の市町村長に対してワクチン接種に関する聞き取り調査を行いました。

集まった国へ対する要望事項は総数280件になり、なかでも「迅速な情報提供を求めるワクチンの確保・分配」に関する要望事項が最も多い75件、「市町村の費

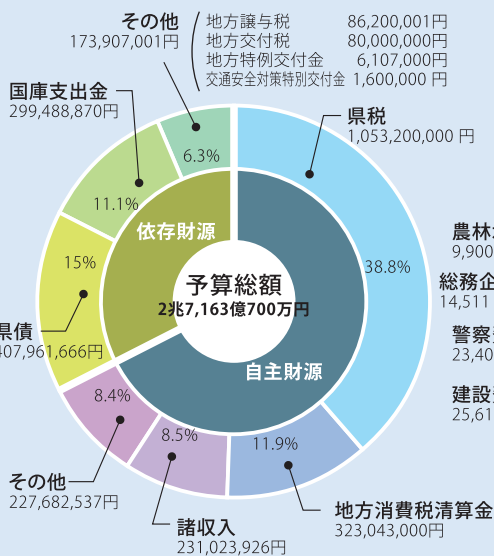
用持ち出しゼロを確認する費用負担に関する事項」が52件、「接種にあたりその方法や医師、看護師の確保」や「接種会場に関する要望」等多数の要望事項を頂きました。

それらの取りまとめをおこない、2月19日にワクチン接種の推進を担当する河野太郎行政改革担当相に時間を頂き提出いたしました。市町では現在、高齢者接種が始まっており、そこでは尚も様々な問題が生じております。国に改善を促すため再びその声を河野大臣へ直接届けて参ります。

愛知県令和3年度一般会計予算

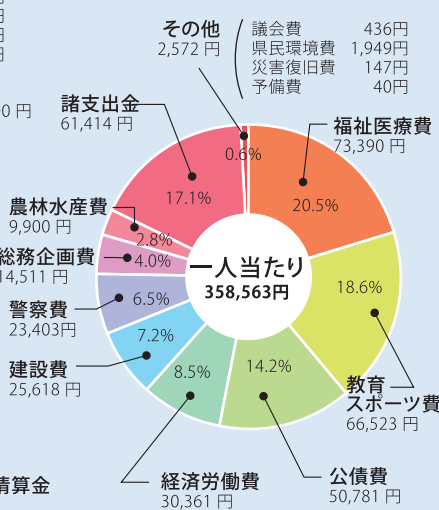
2兆7,163億円

歳入予算の 自主財源・依存財源別内訳 (一般会計)



目的別の状況 (一般会計)

県民一人当たりの歳出額



令和3年度の一般会計当初予算総額は2兆7,163億円で、前年度に比べ新型コロナウイルス感染症対策費が予算の主な増加分を占めています。それを除く実質的な増加分は0.5%の微増となっております。

【歳入】では、新型コロナウイルス感染症による影響で、2009年度のリーマンショック、1999年度の赤字決算に次ぐ過去3番目の大幅な減収となりました。うち法人二税(法人県民税・法人事業税)は21%の大幅減であり、地方消費税、個人県民税も個人消費の減少により減っております。併せて今後突発的な新型コロナウイルス感染症対策に即応するため財政調整基金を取り崩さず県債を発行し現金の確保をおこなっております。

【歳出】では、新型コロナウイルス感染症対策への経費計上や、時代に合わせたデジタル化やコロナ後を見据えた成長戦略への取り組みの予算編成となっております。



令和3年度予算概要 (抜粋)

※コロナ対策費以外

小学3年生まで35人学級を拡充
(現行の35人学級=小学1年・2年、中学1年)
12億578万円

県立学校の教育環境整備
(外に債務負担行為38億9278万円)
高等学校エアコン電力代等を公費で運用、トイレの洋式化、床の乾式化への改修 学校施設の長寿命化、耐震改修
96億7,868万円

子どもの貧困対策への取組
放課後児童クラブの運営助成、大学進学を望む児童養護施設等で生活する児童への支援(受験料、進学準備金、居住生活費等) 学習支援や居場所の提供(生活困窮世帯、ひとり親家庭、放課後子ども教室、地域未来塾等) 子ども食堂支援 生活困窮者への就労支援、相談支援員の配置
71億8,150万円

自転車の安全適正利用の促進(新規)
市町村への自転車用ヘルメット購入助成 7歳~18歳及び65歳以上、補助率1/2
5,221万円



新・愛知県体育館の整備
(外に債務負担行為200億円)
名城公園北園に移転、2025年夏の開業を目指す。外観デザインは建築家の隈研吾氏
12億766万円

スタートアップ企業の創出・支援
(外に債務負担行為143億7800万円)
ステーションAi(エーアイ)施設整備(名古屋市昭和区、2024年10月開設予定) 海外のスタートアップ支援機関との連携。ベンチャーキャピタルとのネットワーク構築
7億9,750万円

スポーツ大会を活かした地域振興
FIA世界ラリー選手権最終戦 2021年11月11日~11月14日 岡崎市・豊田市・新城市、設楽町、長久手市、名古屋市、中津川市、恵那市
1億5,350万円

不妊症・不育症に悩む方への支援
がん患者妊よう性温存治療に対する助成、体外受精・顕微授精に対する助成。人工授精への助成を行う市町村への補助。保険適用外の不育症検査に対する助成
29億1,487万円



福祉医療委員会質問 (抜粋)

看護学生の教育現場の現状について

石井 看護人員の育成はコロナ禍においても、我が国の医療体制の堅持のためにも、施策として、しっかりとおこなっていかねばならない。その中、愛知県看護連盟が本年2月に34施設にアンケート調査を行ったところ、コロナ禍のこの1年間で看護学生が医療機関等での実習を断られたことがあるかの問いに対し、付属実習施設がある施設では95%、付属実習施設がない施設では100%が断られたとの回答であった。

2021年も実習受け入れを憂慮する施設があることから、厚労省では学生のワクチン接種は新型コロナウイルス感染症患者に頻繁に接する場合は実習先の医療機関の判断によるとされた。

しかしこれはすべての看護学校が接種してもらえる病院を探し依頼しなければならない。学校が母体病院を持っているか否かに関わらず安心して実習に臨めるようすべきである。県として働きかけを行うべきではないのか?

また、不安に思う施設や学生に対してもワンストップの相談窓口設置したかどうか?

県 実習を希望する学生が適切にワクチン接種を受けられるよう、県として医療機関に周知する。相談窓口に関しては看護師等養成所を所管し指導監督を行っている医務課においてしっかり丁寧に対応する。

愛・地球博記念公園の施設整備・周辺道路整備(抜粋)



北エントランスの整備イメージ (リニモ駅から南を臨む)

北エントランス平面図

① 公園北エントランスの再整備

北駐車場の一部も利用し、表玄関にふさわしい機能を備えた北エントランスの再整備を進めます。(案内所、休憩所、飲食及び物販などの機能を備えた総合案内センターを設置)

② 周辺道路の渋滞対策

県道力石名古屋線、県道田柺名古屋線、瀬戸大府東海道線など周辺道路に対し渋滞対策を進めてまいります。

